



門高通信

～平成 30 年度第6号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ: <http://cms1.ishikawac.ed.jp/~monzeh/nc2/htdocs/>

メールアドレス: monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp



体育祭

文化祭

主役は

俺だ！



た。
れば幸いです。ご協力ありがとうございます。
だことを今後の学校生活にも生かしてくれ
など改めて感じました。門高祭を通して学
皆さんにボランティアに参加していただき
大変助かりました。さすが門前高校の生徒
す。また、文化祭当日の朝も、大勢の生徒
なり一致団結できたのではないかと思いま
画などを通じてクラス、学年の仲がよりよ
ました。合唱コンクールや模擬店、生徒会企
性を輝かせられる門高祭になるように努め
というテーマで、生徒一人ひとりが自分の個
今年、門高祭は、「俺、主役は俺だ！」

生徒会長 田川 智丈 (門前中学出身)

門高祭

体育祭

生徒会副会長 中條 優香梨
(門前中学出身)

今年の体育祭は去年よりも面白く、そして生徒のみなさんが盛り上げられるようなものにしよとと考え、新しい種目を追加したり、ルールを去年と少し変更したりしました。台風の影響で午前中のうちに体育祭を終わらせなければならず大変でしたが、生徒のみなさんや先生方のご協力のおかげで無事に終わらせることができました。ありがとうございました。門高祭の運営は大変なことも多かったですが、自分にとってとても良い経験になりました。



グッドマナーキャンペーン

9月18日から21日にPTAの皆さまのご協力の下、グッドマナーキャンペーンが実施されました。本校の生徒会役員や有志の生徒たちも本校校門前や門前中学校の校門前で気持ちのよいあいさつをしてくれました。

部活動結果

野球部秋季大会 結果

一回戦

門前 4 - 11 遊学館

男子バスケットボール部

選手権大会 結果

一回戦

門前 53 - 94 鶴来

卓球部ジュニア選手権大会 結果

藤井 尚彌 2回戦進出

嵐 玲音 1回戦健闘

陸上部新人大会 結果

大泉 楓太

800m 2分32秒68

1500m 5分12秒78

新谷 遥人

100m 12秒65

200m 25秒68

新谷 理人

100m 13秒46

200m 27秒56

クリエイティブ人材育成事業

ハイティワイナリー訪問

11H 皆川隆之(門前中出身)

「どこでも学ぶことができる」という高作社長の言葉がとても印象に残っています。自分は将来どのような仕事に就くのかはまだ決めていないけれど、自分のしたいことを見つけて、やりがいを感じることでできる仕事に就きたいと思いました。起業をするのに莫大な資金が必要な場合でも「借りる」という方法もあることが分かったので、様々なことを視野に入れて自分の夢を見つかけられるように頑張っていきたいと思っています。

門前地区敬老会ボランティア

山口 未悠(門前中出身)

私たちバレーボール部は敬老会でボランティア活動を行いました。会場までの送迎やサポートは、慣れていないのでとても大変でしたが、お年寄りの楽しんでる姿や笑顔を見るとこちらも嬉しくなり、思いやりを持って接することの大切さを学びました。またこの経験を今後の学校生活に役立てたいと思います。



ボランティアのようす

10月の主な行事予定

- 1日 交通安全指導
グリーン週間(～5日)
- 6日 創立70周年記念式典
- 9日 振替休日
(70周年記念式典)
- 13日 進研・駿台記述模試
(～14日)
- 15日 2学期中間考査
(～18日)
- 19日 上級学校見学会(1年)
出張オープンキャンパス
(21H)
企業見学会(22H)
- 20日 進研・駿台記述模試
(～21日)
- 27日 ソフトボール新人戦
(～28日)
野球部1年生大会
進研記述模試(1・2年)
- 28日 全統記述模試(3年)
進研記述模試(2年)

教頭先生のつぶやき

中澤教頭先生

この夏は、県内外の美術館で行われている名画展覧会に行く機会が多く持てた。「象と鯨 凶屏風」で有名な伊藤若冲からはじまり、葛飾北斎の「富嶽三十六景」やルノワールの「可愛いイレーヌ」など、これまで教科書やテレビ番組でしか見たことなかった多くの「名画」をじっくりと見ることができた。中でも、クロード・モネの「睡蓮の池、緑の反映」と東山魁夷の「唐招提寺御影堂障壁画「山雲濤声」(山と海を描いた屏風図)」には、吸い込まれるように魅了され、しばらく立ち尽くした。私は、それぞれの絵のどこが良くて「名画」と呼ばれるのか解説を聞いてもわからない。くらの「ど素人」で、コピーでも満足できるレベルだが、今回「本物」だからこそ味わえる「素晴らしさ」を体感することができた。スポーツの名選手同様、「本物」はやはり違う。よく「百聞は一見に如かず」と言われるが、まさにこのことわざを改めて実感できた夏だった。

さて、9月1日、4日の2日間、学校祭が開催された。以前から本校に勤める先生方から文化祭や体育祭の様子を聞いて頭の中でのイメージしていたが、当日の門高生徒の動きや表情は想像以上のものだった。雨や台風接近といったハンディキャップがあったが、そんなことどこへやら、生徒会執行部を中心に学校は一体感に包まれ、全員ではじめ、一人ひとりが本心に楽しめた学校祭だった。私にとって、着任後初めて、門高生徒の真の姿を見、知ることのできた貴重な時間だった。

最後になるが、SNSなどのネットメディアの進歩のおかげで、誰もが個人で情報発信できる現代は、便利である反面、フェイクニュースが飛び交い、それにより風評被害を引き起こしたりするマイナス面もある。「何が真実で何が嘘なのか、あふれる情報を取捨選択する力、何を信じるべきなのか判断する力」が私たちに求められている。こういう時代だからこそ、自分の目でしっかりと確かめて、真実を知り、理解することが大切だ。